

# たかはぎ

発行と編集 高萩市役所市長室・広報広聴係  
高萩市本町1-100 (電話) 3-2111 印刷 藤枝印刷所

- 1 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
- 1 礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう
- 1 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
- 1 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう



(高戸海岸の日の出)

今月の税納

市県民税 (4期)  
国民健康保険税

市の人口と世帯数

	12月1日現在	前月比
人口	31,505人	(+18)
男	15,438人	( 0)
女	16,067人	(+18)
世帯	8,699世帯	(- 3)

あけまして

おめでとうございます



激動する経済社会の中にあつて、多くの先人によつて築かれた基盤をもとに、市民のたゆまぬ努力によつて市勢が年毎に伸展の歩みを続けていくことは、ご同慶のいたりに存じます。

輝かしい昭和52年の初頭にあたり、心から新春のお喜びを申し上げます。

昨年は、天皇・皇后両陛下をお迎えして第27回全国植樹祭が開催されたをはじめ、年末には、総選挙が行なわれるなど意義深い年でありました。

# 新年のごあいさつ

昭和52年の年頭にあたり、高萩市議会を代表いたしまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆さん、あけましておめでとございます。

新春を迎えるにあたり、皆さまがたのご清福と、ご繁栄を心からお祈り申し上げます。



私は昨年12月定例市議会において、はからずも議長のお務めについて、ことになりました。今更、その重責を痛感し、新たな決意をもつて微力ながらも円滑なる議会の運営と、市政の伸展を期して、誠心誠意懸命の努力を傾注して参る所存でありますので、市民の皆さんの好意のいたります。

青年による社会活動、婦人による生活運動、市民合唱団その他文化サークルの誕生、ボランティア活動の推進等、昨年の市民生活の歩みの中にも大きな力の盛り上がりを感じられます。

私は、このような気運の中にあつて市政に寄せられる期待のますます大なることを思い、あらためて責任の重大さを痛感するものがあります。

本年もまちづくりの指針ともいうべき「高萩市総合振興計画」の諸施策の具体化に積極的に取り組むとともに、高萩市市民憲章の精神を心のよりどころとして、市民のみなさまとともに力強く前進いたしたいと存じます。

しかし、現下のきびしい経済情勢の中での市政運営については、容易ならざる局面をむかえ、懸命の努力をもつて難局打開に取り組む決意を痛感いたしております。

市政の基本として明るいまちづくりを主眼とし、すべての施策に対処し、生活環境の整備、公害防止対策、衛生思想の普及と施設の充実、教育施設の整備、交通安全対策、福祉の充実など市民生活の向上がはかれるよう努力を重ねて参る所存であります。

松久保工業団地、手綱工業団地への進出企業も順調な活動をつけておりますことは心強い限りであります。

地方自治体をめぐる諸情勢はまことに厳しいものがあります。

しかしながら、市民ひとりひとりが新しい地方都市を創造し、そこに生きる喜びを追求しながら郷土愛に燃えて進むとき、いかなる困難も乗り越えて、真の住民自治の理念に立脚した明るい高萩の未来が開かれることを信じて疑いません。

新年のはじめに、みなさまとともに希望と勇気をもつて出発することを誓うとともに、本年も市政発展のため、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

市民各位のご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

市議会といたしましては、執行部とともに、市の特性を十分に生かし議員各位と相協力し、議会本来の使命感に徹して参りたいと思っております。

昭和52年こそは、本市のいつそう躍進の年として市政全般にわたり、内容充実し最大の努力を傾注して参りますので、なにとぞ、旧に倍してのご指導ご鞭撻を願ひ申し上げますと共に、市民の皆さんの限りなきご発展をお祈り申し上げます。

## 第4回(12月) 定例会

第4回、定例市議会は、12月15日から24日までの10日間の会期で開かれ、上程された報告5件、議案14件はいずれも可決、承認されました。

議長に鈴木好之氏

副議長は北畠暢男氏

正、副議長の改選があり議長には、鈴木好之氏、副議長には北畠暢男氏がそれぞれ選ばれました。

市監査委員に神長新一氏

大都直光委員の任期満了に伴い新たに神長新一さん、島名1394が市監査委員に選ばれました。

農業共済事業運営協議会委員選任  
沼田武美(秋山)、郷土行男(上手綱)、鈴木広次(上君田) 宇佐美喜平(秋山)、渡辺栄八(赤浜)、小島英雄(上手綱)、弓野仁(秋山)、根本栄(島名) 篠原新一郎(下手綱)、佐川安広(大能)

### 陳情・請願報告

採択(請願) 市道の拡幅、道路舗装及び側溝設置、水路の改修、秋山地区水泳プールの建設、東幼稚園保育室の増設、秋山幼稚園のピアノの購入、松岡幼稚園独立園舎の建設、松ヶ丘保育園設備費の補助金交付、学校保健の強化充実並びに学校薬剤師の待遇改善

(継続審査) 児童館建設に関する請願、赤浜海岸工場排水反対に関する陳情



# 母子家庭医療費の受け方が変わります

福制度は所得制限に

1月1日から

1月1日から母子家庭の方が病院などで診療を受けるときに、窓口で現金を支払う必要がなくなりました。(健康保険のきかないもの：健康診断や整形手術などは自己負担しなければなりません)病院の窓口へは

- ① 健康保険証
- ② 福受給者証
- ③ 福請求書

福制度に所得制限が

できました

1月1日から、乳児・重度心身

障害者、老人などで新たに受給資格が得られる人には、所得制限の制度が適用されることになりました。くわしいことや、わからないことがありましたら当係へご相談ください。

保険年金課医療福祉係

☎(3)2111  
内線225

## おとしよりの居室の増改築に貸付を

60歳以上の方と同居しており、おとしよりのための専用居室を増築または、改築するのに必要な経費の貸付を行ない、おとしよりと家族との好ましい家族関係をもつための制度として、老人居室整備の資金貸付制度があります。

この貸付の対象となる方は、次のとおりです。

- 市内に居住し、親族であるおとしよりと同居する方で、おとしよりの専用居室を必要とし自力で整備を行なうことが困難な方
- 自分所有の住宅、または、直系尊卑属、または配偶者が所有しかつ居住する住宅であること
- 貸付限度額は1件につき720,000円(貸付予定数4件)
- 償還期限は10年以内

ご希望の方は、1月末日までに市福祉事務所社会係に申請してください。

☎(3)2111内線285

# たかはぎの歴史

⑬ 赤浜妙法寺過去帳(五)

文・志田 諱 一

永正元年(一五〇五)に二十二名の死者がみえるが、飢饉によるものらしい。翌年には実に四十一名の死者がでてゐる。永正二年(一五〇六)、佐竹氏は山入の残党を討伐して綱紀を肅正し、翌年には白河結城の内紛に乗じて旧領を獲得するという動乱の年なので、戦乱による死者もあつたろう。

永禄元年(一五五八)に十四名の死者がある。この年も大旱ばつだったので、飢饉と関係があるろう。永禄三年(一五六〇)に四十名の死者がある。この年の死者は、十月二十日前後と、十二月二十日前後に武士らしき者の死亡者が多く記されているので、戦乱による戦死者であろうか。ちょうどこの年の七月に佐竹義明らが作戦をおこして結城晴朝を攻撃しているその犠牲者と思われる。永禄五年八月、相馬盛胤が兵を率いて多珂庄に侵入し、大沼(日立市)にせまり激戦が展開された。永禄七年(一五六四)にも岩城勢の侵入があり、高萩地方も戦場となつたらしく、過去帳には「いしたき藤三郎岩城より御動きありて打たれるなり」とみえる。したがつて前年の十八名の死者や、そのなかで、「門前三郎四郎上意にて切られるなり」などは、当時の物情騒然たる有様を物語っている。

慶長六年(一六〇一)に十九名の死者がある。この年の死者は九月から十二月にかけての死者が、ほとんどなので悪質の風邪によるものである。元和三年(一六一七)の死者は七名であるが、この年はほうそうが流行し、二才から九才にかけての幼児の死者が大半である。

寛永二十年(一六四三)に二十一名の死者があるが、老衰、出産によるもの、水難死がおもである。

## 善意ありがとう

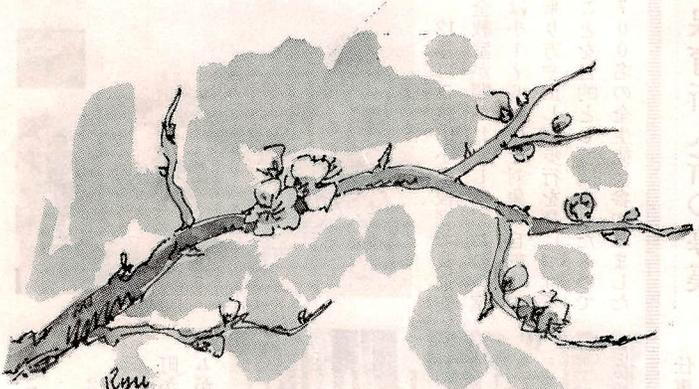
○日本加工製紙高萩工場NKブル1スターズ  
福祉のために 35,000円  
寄贈

○東京電力日立営業所高萩サービスセンター 湯飲茶わん 50個

## 補装具・補聴器の巡回相談

1月28日	補聴器と補装具
2月25日	補装具のみ
3月25日	補装具のみ

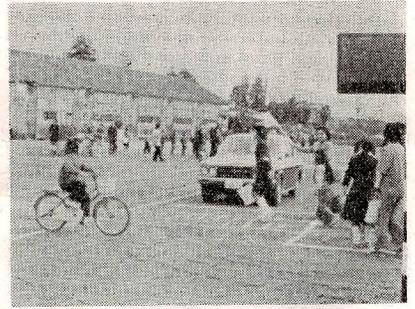
いずれも北茨城市青年研修所



## 初春の頌

昭和52年の新たなる年のはじめに、吾がまちの豊かな躍進を、寿ぎまつる。  
× ×  
ふれてみる梅の匂いて心足る

絵と文 伊藤龍馬



12月11日秋山小の校庭で交通安全教室が開かれました。この教室は小1〜6年生を対象に自転車の乗り方や正しい歩行を身につけることを目的として開かれたもので700名の全生徒が参加しました

### 保育所入所の募集

今春、4月からの保育所入所児童の受付を1月20日から1月31日まで行ないます。市内に住んでいる方で入所希望の方は、市福祉事務所に社会係に申請してください。今回より松ヶ丘保育園(下手網永田前)の新設により措置児童も増員されます。

入所の基準となるのは、次のいずれかに該当する方で、家庭内で母親以外の人が、児童の保育がでさる場合は除かれます。(イ)〜(ホ) 母親が、昼間家庭外で仕事をすることが普通で、児童の保育ができない場合、(ロ)母親が家庭内での

### ミニ・カメラ

12月12日恒例の「第25回市民駅伝大会」が行なわれました。十王町からの参加チームも加え27チームが熱戦をくりひろげました。



仕事がほとんどで、児童の保育ができない場合、ただし父親がその仕事に従事していてその使用人がいる場合は除かれます。(イ)母親がいない家庭(死亡など) (ロ)母親が病気や心身に障害がある場合。(ホ)母親が家庭内で病人や心身に障害のある人がいるため看護している場合。(ハ)火災や風水害などの被害を受けた家庭で、その復旧の間。

### 募集人員

- 高萩保育所 3歳以上児 60人
- 秋山保育所 3歳未満児 6人
- 3歳以上児 64人
- 同仁東保育園 3歳未満児 18人
- 3歳以上児 72人
- 聖徳保育園 3歳未満児 18人



12月19日高浜グラウンドで消防実演訓練が開かれました。この訓練は市消防署の協力をえ、高浜町商店会が開いたもので約200人の参加があり消火法を身につけました。

### 「市民登場」は休みます

- 松ヶ丘保育園 3歳以上児 42人
- 3歳以上児 18人
- 3歳以上児 42人

### 新入学児の健康診断は忘れずに

来春四月、小学校へ入学するお子さんの健康診断を次の日程により各小学校で行ないます。

### 日程

- 上君田小 1月13日午後1時30分
- 下君田小 1月13日午後1時50分
- 横川小 1月13日午後2時
- 東小 1月18日午後1時
- 松岡小 1月19日午後1時
- 秋山小 1月21日午後1時
- 高萩小 1月25日午後1時

### 花貫ダムと自然 (G)

## 自然のなごり

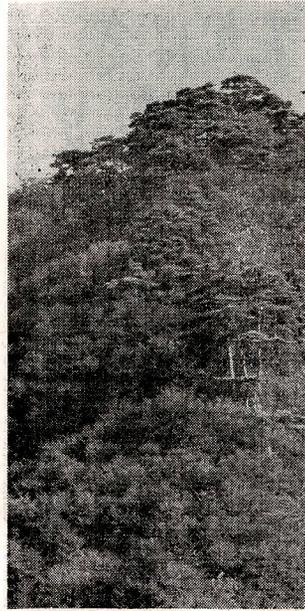
イザナギ、イザナミの二神によつて生まれた大山津見の神は、山の神として山のすべてのことをつかさどつていた。遠い遠い神代のことであるが、ダムサイドに立つて大自然の造物主を考えてみた。花貫溪谷が出来あがつたのは、地質時代といつて人間がまだ卵にもならないころであつた。人間らしいものが地球上に現われたのは、四万年前、旧石器時代が三万年前だから、神代の時代はせいぜい一万年から三千年前と考えられる。

あの尾根、あの谷、何回かくぐり抜け、植生や大木を調べてみた最高はカン類で5・2m、松が4・5m、ブナやヤシヤブンは3・0m前後ですつと後世になる。八幡宮の爺杉が樹齢約一千年だから、花貫溪谷のものは割増付にしても四百年〜五百年である。

でも暖い所の岩場にへばりついているシダ類には何十万年前からここに生を受けているとしか考えられないものが生えている。

すると、二百〜三百年前のころ山火事でもあつて、ほとんど枯れてしまつたが、現在残っている大木や一部のシダ類はそのとき幸いにも生きのびたもので、あのあたり一面が生えやすいアカマツになつた。その間に、やつと芽を出したカシ類やヤマザクラ、カエデ類が何年かたつうちに生長して空を占領してしまつた。そのため松の木は枯れ他の木々は生長しにくい頂上や尾根すじにだけ残つているものと考えられる。

あの自然林は、全くかけがえない、高萩市だけではない人の世の尊い大きな文化財だ。(自然を愛する友の会)



尾根だけに残る赤松の大木